

事業者排出量削減計画書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更					
(宛先) 京都市長		平成26年 9月30日					
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地) 大阪府堺市堺区戎島町4-45-1 堺駅前ポルトスセンタービル		氏名(法人にあつては、名称及び代表者名) 株式会社ラウンドワン 代表取締役 杉野 公彦 電話 072 - 224 - 5115					
主たる業種	ボウリング場	細分類番号	8 0 4 5				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> ア 京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第6号 <input type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ						
計画期間	平成26年4月から平成29年3月まで						
基本方針	平成23年度～25年度を基準に、平成28年度の温室効果ガス排出量を6%以上削減する。						
計画を推進するための体制	運営統括本部長直轄部署のコスト管理室を中心とし平成23年度～平成25年度を基準年とする新たな実行計画の進捗管理を実施する。						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (23～25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	4,395.6 トン	4,451.9 トン	4,407.4 トン	4,363.3 トン	0.3 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	4,685.9 トン	4,251.9 トン	4,207.4 トン	4,163.3 トン	-10.2 パーセント	
	目標の根拠	①蛍光灯のHfタイプの導入②水銀灯の種類見直し③LED使用箇所の増加を行い、達成を行う。 目標					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	増減率
	店舗	事業活動に伴う排出の量 (延床面積×1/10)	21.05	19.99	19.79	19.60	-6.16 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
	原単位の指標及び目標の根拠	延床面積は変動が無い為に目標の根拠と同じ。					
重点的に実施する取組の実施計画		基準年度 (25)年度	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考	
		63.0 パーセント	72.0 パーセント	81.0 パーセント	90.0 パーセント		
具体的な取組及び措置の内容	(26)年度	蛍光灯設備の見直し					
	(27)年度	照明の効率化					
	(28)年度	運用管理の効率化徹底					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施しようとする措置	措置の内容	一部公共交通機関での通勤の推奨。					
	上記の措置を採用する理由	夜間勤務者が多い為に一部スタッフに制限される。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減する量	区分	第1年度 (26)年度	第2年度 (27)年度	第3年度 (28)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動							
特記事項	第1年度～第3年度の各年度200トンずつ超過削減量の差引を行っております。						

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。